北京海淀外国語実験学校視察研修報告書

海淀実験学校は、１９９９年に海淀区人民政府の認定を受け設立をされ、当初は在中の外国人の女子の人の語学の学校としてスタートした。その後、中国の人達も学生として入学が認められるようになったことにより、現在の学校としての変貌を遂げてきた。北京海淀外国語実験学校は、中国国内に本校を含めて４つの学校が(海淀・武漢・海南・京北)あります。生徒数は、現在で一万人弱の生徒が学校内の学生寮で生活をしながら勉強に励んでいます。目的達成のために国外の基地局がアメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・オーストラリアなど多くの施設があり、子どもたちは、各国のそれぞれの環境や多文化の意識を備わった人材育成を目指して、それぞれの外国語を通じで勉強をしている。語学の基本は、英語での授業を中心に行っているが、現在、日本語・ドイツ語・フランス語を取り入れての過程を進めている。そうした中で、日本においても交流をしている学校などが増えてきているとの事です。

　今回の北京海淀外国語実験学校視察の目的は、東かがわ市において、市内小中学校の児童生徒の交流が２０１７年から始まり、今年度も中学生の交流がありました。そうした中で北京海淀外国語実験学校がどの様な学校であるのかを確認するためと、昨年と今回の議会としての視察となり、今回は創立２０周年としての節目の年であったことから招聘されたことにより合わせての視察になりました。

　今回視察をした学校は北京海淀外国語実験学校の本校と京北校区の学校を視察しました。京北校区は、北京市内から２時間ほど行った標高約５００メートル位のところに今年の９月に開校した学校で、冬のスポーツを中心とする小・中・高の学校で将来の生徒数は３,０００人とのことでした。私たち日本の学校と違って背景には１,０００メートルぐらいの山や広大な敷地の中に各校舎と各施設(スケートリンク・バスケット競技場・体育館建設中・陸上と併せてのサッカー場・スキー滑走場)に加え敷地内には、本校にもありましたがミニ動物園と京北校には敷地内を１周する路面電車がありました。

　本校の北京海淀外国語実験学校は、幼稚園に小学校・中学校・高校とあり全体で５,０００人が勉強しています。幼稚園においては、家から通園する子供や寮で生活する子供もいるとの事でした。幼稚園において視察させていただいたのは、ピアノの個人レッスンで先生が一対一での指導をしていました。教室は防音壁に囲まれていたと思いますが１０教室ほどありました。英語については歌や英会話で専門的に外国から来た先生で指導をしているとの事でした。

小学校については、２年生の日本語の授業を、１０数名の児童がひらがなやカタカナの読み方の授業をしていました。先生は、日本の男性の先生で今年採用され指導していました。

中学生については、物理の授業をしていました。

高校生については、昨年も東かがわ市に来た生徒もいました。日本語を勉強するきっかけについては、日本のアニメが好きになって日本語を勉強しだしたとの事でした。生徒たちは、将来の目標を当然大学に進んで行く事ではありますが、日本の東大や精華大など医者や音楽等を目指して、勉強をしているとの事でした。先生については各外国から採用された１,０００人余りの講師で授業を教えているとの事でした。

短い時間の視察でしたが、公立の学校と違って、私立であることで学校設立の目的グローバルな視野の育成と在学中に言語や異文化を知り多様性の意識を持つ人材育成を目指していることが分かったのと、日本の教育とは異なっているが、子どもたちにとって交流を深めて行く事で、市内の子どもたち刺激を受けて、教育の向上につながっていくと確信できた。

また、北京海淀外国語実験学校は、日本に留学等のための基地局創設をしたい旨もあり、今後の動きを見ていく必要があり、他の国のように交流が深まれば良いのではないかと思います。

精華大のホールで行われた、北京海淀外国語実験学校２０周年記念式典に出席をさせていただきました。２時間余りの３部制の演出で構成されていました。プロの方もいましたが、卒業生の声楽の方も生徒たちとのコラボでの出演でした。オケーストラやダンスなど、日本で行う学園祭を見せていただきました。日本の式典と違って、中国で有名なプロデュウサーが係って構成され、幼稚園児から卒業生までが練習の成果を出しての記念式典であり、各関係国の方のお祝いとともに、上村東かがわ市長もビデオスピーチ出演をしての構成でした。素晴らしいと思いました。

二泊三日の視察研修の行程はきついものがありました。一日目、午後の関西空港発が約一時間遅れ、北京空港で着陸３回やり直し(スモーッグのせいかな)、空港から北京市内の車の渋滞、夜のレセプションも遅れました。二日目、朝から交通渋滞の中、京北へ２時間余りかけて新しい京北校区の学校視察、学校視察後学校給食を頂き北京市内の北京海淀外国語実験学校の本校での授業視察後、早めの学校給食を食べて、午後７時から始まる精華大のホールで行われる２０周年記念式典、行く道中交通渋滞に出会うが日本の道路交通事情とは全く違った渋滞と感じた。終了後、１１時近くにホテルへ。三日目帰国に向かって空港に向かうも朝から交通渋滞、時間的には間に合うが疲れる。関西空港から自宅に１１時ごろ着となりました。